



年 組 名前

道新で
ワークシート

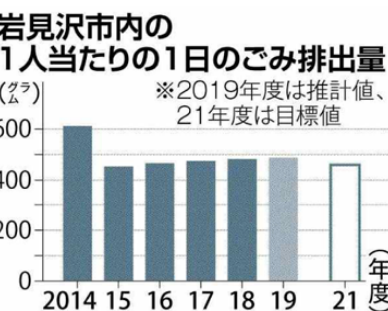
岩見沢の家庭ごみ増量一途

【岩見沢】市内の一般家庭から出される一般廃棄物の量が、有料化が始まった2015年度以降、増え続けている。19年度の年間排出量は1万4418トと見込まれ、この4年間で2・3%増加した。1人当たりのごみの量は4年で7・7%増え、19年度の推計値は1日488g。市が減量化の目標としている21年度の460gの達成は難しい状況だ。

(中沢弘一)

21年度目標の達成ピンチ

市廃棄物対策課によると市内の家庭系ごみの排出量が前年度を大幅に下回ったのは近年では有料化初年度の15年度のみ。紙類やプラスチック製容器などが資源として分別されるようになったため、排出量は1万4099トと3割近く減った。



減量化が進まない大きな理由として、生ごみが十分に水切りしないまま廃棄されていることや、資源ごみと

目立つ食品ロス 市、1人1日30グラム減目指す

なるプラスチック製容器などが依然として「燃やせるごみ」に含まれていることを挙げる。

排出されたごみの内容や分別状況を確認する調査でここ数年特に増えているのが、一切手を付けていない加工食品や袋入りの野菜などがそのまま廃棄される「食品ロス」だという。同課の担当者は「減らすためには、買い物の仕方、食材の活用などそれぞれの家庭で食べ物を大切に取る取り組みを進めてもらうしかない」と話す。

市は1人当たりの1日のごみ排出量を21年度に460g、26年度には450gに減らす目標を設定する。21年度の目標を達成するためには、19年度の推計値と比べ約30gの減量が必要になる。市は出前講座などを通じ、ごみの分別、減量への理解を求めていく考えだ。

2020年1月24日(金) 朝刊 地方 空知版 14P (記事は再編集しています)

①岩見沢市内のごみ排出量が増加している原因を、記事を参考に書きなさい。

②家庭ごみを減らすためにはどのような取り組みをすると良いか、身近な生活の中でできることを書きなさい。